



下諏訪町温泉熱活用アクションプラン

計画期間：R8(2026)年度～R12(2030)年度 (概要版)

1. 概要

下諏訪町では、昭和60年から温泉事業に着手し、全国で数少ない各戸配湯を行っています。一方、人口減少や生活スタイルの多様化、入浴形態の変化等により温泉加入世帯数は減少傾向にあり、配湯設備の老朽化に伴う修繕費の増加も含め、温泉事業の持続可能性が課題となっています。

本計画では、配湯（給湯利用）を最優先としたうえで、見逃されてきた温泉熱利用の可能性を明らかにし、その有用性と成立条件を検証するとともに、多用途・他地域への展開可能性や実装に向けた方策を整理し、温泉資源の持続的な利活用の発展に資することを目的とします。

また、温泉熱の未利用分（オーバーフロー温泉）を暖房等の熱源として有効活用するモデル事業を推進するとし、本モデル事業では、広くアイデアを募る「下諏訪町温泉熱活用モデル事業」コンペを実施します。コンペで選ばれた優秀提案者と町ゼロカーボン推進室がアイデアを具体化し、プロを交えた「基本設計」でモデルの実現性を高めます。さらに総合的検討を終ったモデルは「実施設計」を経て、実際に高木公民館で実施する「実証フェーズ」に進みます。

【関連計画】 下諏訪町温泉事業経営戦略 R4(2022)年度～R13(2031)年度、下諏訪町地球温暖化対策実行計画 R3(2021)年度～R12(2030)年度

2. 指標 (KPI)

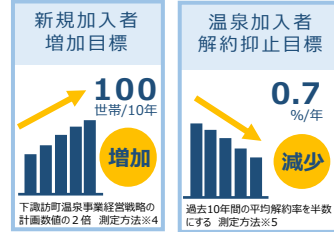
温泉熱の活用によって環境への負荷を減らし、より快適で健康的な生活環境を実現すること、あわせて温泉事業の利用を広げ、将来にわたって持続できる仕組みをつくることを目標とします。

—モデル事業の目標数値—（高木公民館で実測）



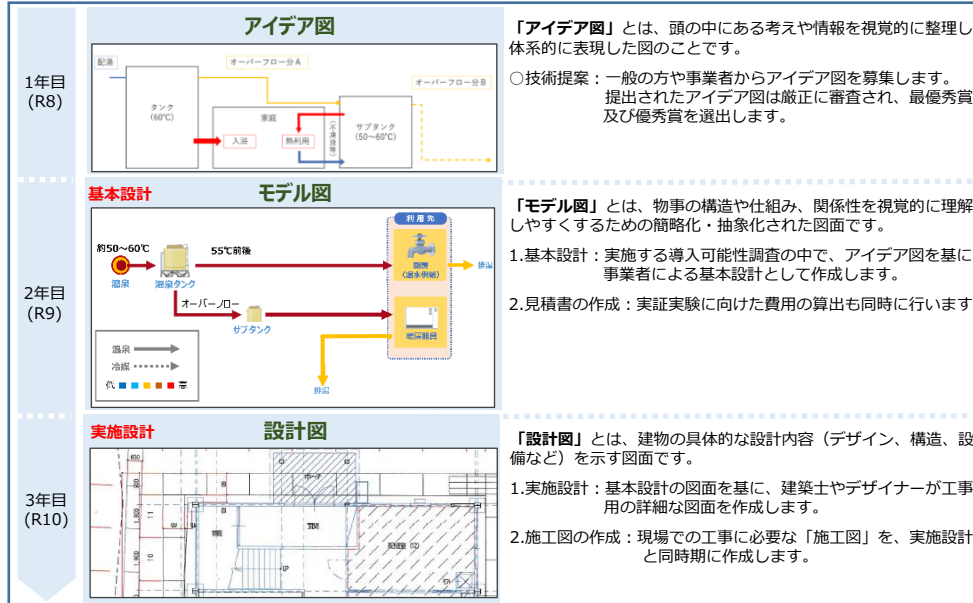
※1 導入前後のエネルギー使用量（電力・灯油）から算定
 ※2 導入前後の使用量が算定
 ※3 一定期間測定し、導入前後で比較

—アクションプランの目標数値—（普及管理）

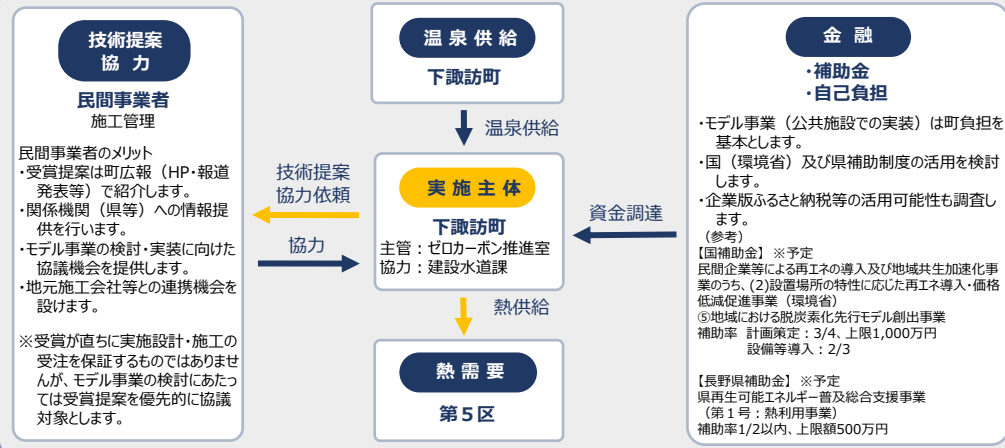


※4 年度ごとの加入・解約データを分析（下諏訪町温泉事業経営戦略の計画数値 年間5世帯）
 ※5 年度ごとの加入・解約データを分析（過去10年間の平均解約率 1.4%）

3. システム概念図



4. 実施体制（役割分担）



5. スケジュール

